



総合公園のバラ園

議長に金子修一氏

副議長は鈴木晴男氏

5月臨時会

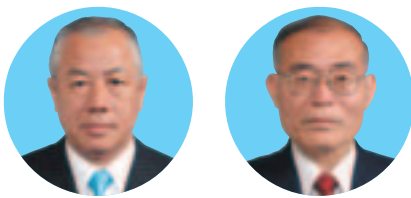
平成二十一年第一回臨時市議会は五月十九日に会期一日間で開催しました。この臨時会では、平成二十年度一般会計補正予算の専決処分承認や平成二十一年度一般会計および老人保健医療事業特別会計の補正予算など六案件が市長から提案され、報告を除く五議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、正・副議長の選挙を行うとともに、各常任委員会や議会運営委員会の委員を改選し、各委員会において正・副委員長を互選しました。

そのほか、議会選出の監査委員の選任、金目川水害予防組合議会議員の互選および農業委員会委員の推薦も行いました。

正・副常任委員長も決まる

正副議長の選出については、各党派間あるいは議会運営委員会で協議されましたが、全議員による投票を行って選ぶことになりました。投票の結果、議長には平塚クラブの金子修一議員(六七歳、三期目)、副議長には公明党平塚市議員団の鈴木晴男議員(五八歳、二期目)が選出されました。



鈴木 副議長

金子 議長

また、本会議での議案を専門的に審査する機関として、少数数の議員で構成する常任委員会を四つ設置していますが、この臨時会では常任委員の任期満了に伴う改選を行い、互選で各正副委員長

を次のとおり選出しました。新委員は二面に掲載。

総務経済常任委員会



出穂喜文 委員長 (写真・平塚クラブ)

環境厚生常任委員会



伊東尚美 委員長 (写真・公明党平塚)

新体制スタート 正副議長など改選

就任のごあいさつ

平塚市議会議長 金子修一

市民の皆様には、市政や市議会に對しまして、日頃からご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年から続く危機的な世界経済金融情勢の中、我が国においては、いまだ景気の底が見えない状況であり、雇用の確保などのほか生活防衛のための効果的な対策が望まれています。

本市も市税収入の大幅な減収が見込まれる中で、社会保障関係費の増加や市庁舎建設などの大型事業が控えており、これまで以上に効率的な行政運営が求められています。市議会としても、行政の監視機能など、決機関として果たすべき役割を十分認識しながら、市政の発展に尽力してまいりたいと考えております。

市民の皆様のご支援を切にお願い申し上げます。

議長就任のご挨拶とさせていただきます。

以上、山原栄一各議員です。

「ひらつか議会だより」の発行に当たって、その内容を検討するため、議会報編集委員会を設置しています。

委員会は、三人以上の議員を有する会派から一人ずつの三議員に、正副議長を加えた五人で構成されています(新委員は、二面下段の編集後記欄に記載)。

市議員団)、副委員長は坂間正昭議員(平塚クラブ)。

児童・心身障がい者・高齢者の福祉、介護保険、国民年金、保健、青少年育成、環境政策、ごみ処理、市民病院などに関することを審査します。

教育民生常任委員会



出村光 委員長 (写真・湘南民主クラブ)

都市建設常任委員会



野崎審也 委員長 (写真・平塚クラブ)

議会運営委員会



滑な運営を図るため協議し、併せて各会派間相互の連絡調整を行うために設置しています。委員の選出は、会派の構成員三人に一人の割合です。

委員長は岩田耕平議員(写真・平塚クラブ)、副委員長は永田美典議員、委員は、坂間正昭、片倉章博、須藤量久、府川正

副委員長は秋澤雅久議員(公明党平塚市議員団)。総合計画、財政、防災、財産管理、税務、商工業、農林水産業、情報政策、競輪事業などに関することを審査します。

副委員長は府川正明議員(湘南民主クラブ)。

道路、下水道、公園、都市計画、都市開発、市営住宅、市営霊園、区画整理などに関することを審査します。

明、山原栄一各議員です。

「ひらつか議会だより」の発行に当たって、その内容を検討するため、議会報編集委員会を設置しています。

委員会は、三人以上の議員を有する会派から一人ずつの三議員に、正副議長を加えた五人で構成されています(新委員は、二面下段の編集後記欄に記載)。

市の経理や事務、備品管理等が適正に行われているかどうかを監査するため、学識経験者と市議会議員から各二人の計四人が市の監査委員になっています。

今回、新たに小泉春雄議員(湘南民主クラブ)と伊藤裕議員(平塚クラブ)が、議会選出の監査委員として選任されました。

議会選出の農業委員会委員に片倉章博議員(平塚クラブ)、秋澤雅久議員(公明党平塚市議員団)、府川正明議員(湘南民主クラブ)、白井照人議員(平塚クラブ)の四議員が推薦により選出されました。

また、金目川水害予防組合議会議員に須藤量久議員(平塚クラブ)が互選により新たに選出されました。